Ⅸ．減損損失関係

当事業年度において減損を認識した固定資産は以下のとおりです。

【四国センター】

①減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用途：四国センター敷地

種類：土地

場所：香川県高松市林町字新町2217番14

面積：15,000.00㎡

| 減損前帳簿価額 | 減　損　価　額 | 減損後帳簿価額 |
|---|---|---|
| 1,440,000,000円 | 793,000,000円 | 647,000,000円 |

②減損の認識に至った経緯

四国センターの敷地は、固定資産の市場価格が著しく下落し、今後の回復が認められないため減損を認識いたしました。

③減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産の内訳

| 用　　途 | 損益計算書に計上した金額 | 損益計算書に計上していない金額 |
|---|---|---|
| 四国センター敷地 | 0円 | 793,000,000円 |

④回収可能サービス価額

回収可能サービス価額については、正味売却価額により測定しており、当該正味売却価額は不動産鑑定評価額を用いております。

当事業年度における減損の兆候については以下のとおりです。

【つくばセンター苅間サイト】

①使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

用途：苅間サイト建物等

種類：建物及び構築物等

場所：茨城県つくば市苅間2530

②使用しなくなる日

平成23年度に売却を予定しておりますが、売却日は未定です。

③使用しないという決定を行った経緯及び理由

つくばセンター苅間サイトの建物は、排出ガス性能が飛躍的に優れた革新的な環境調和型ディーゼルシステム技術を確立し、ディーゼルシステム超低公害化技術に関連した新規産業の創出等を可能とし、我が国の国際競争力の向上にも寄与することを目的として使用してきましたが、平成23年３月末に目的を達成し共同研究が終了したため、建物等を処分することといたしました。

④将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込み額

| 資　産　名　称 | 帳　簿　価　額 | 回収可能サービス価額 | 減損額の見込額 |
|---|---|---|---|
| 建物等 | 1,037,337,563円 | 1,037,337,563円 | 無し |

売却の条件・時期が決定しておりませんので、帳簿価額及び回収可能サービス価額については、当事業年度の期末帳簿価額を計上しております。

【北海道センター低温装置燃焼実験室】

①使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

用途：北海道センター低温装置燃焼実験室及び付属設備

種類：建物

場所：北海道札幌市豊平区月寒東２条17―２―１

②使用しなくなる日

平成23年度以降に廃棄処分を予定しておりますが、廃棄処分日については未定です。

③使用しないという決定を行った経緯及び理由

北海道センター建物（低温装置燃焼実験室）は、老朽化による陳腐化が進み、天井の崩落等が確認され、改修不能のため、他の既存施設を使用して業務を継続することといたしました。

④将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込み額

| 資　産　名　称 | 帳　簿　価　額 | 回収可能サービス価額 | 減損額の見込額 |
|---|---|---|---|
| 建物等 | 1,042,804円 | 1,042,804円 | 無し |

廃棄処分の時期が決定しておりませんので、帳簿価額及び回収可能サービス価額については、当事業年度の期末帳簿価額を計上しております。

【関西センター応用物理実験棟】

①使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

用途：関西センター応用物理実験棟及び付属設備建物

種類：建物

場所：大阪府池田市緑丘１―８―31

②使用しなくなる日

平成23年度以降に廃棄処分を予定しておりますが、廃棄処分日については未定です。

③使用しないという決定を行った経緯及び理由

関西センター建物（応用物理実験棟等）は、耐震診断の結果、倒壊・破壊する危険性が高いと判定されたため、耐震補強改修をせず、他の既存施設を使用して業務を継続することといたしました。

④将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込み額

| 資　産　名　称 | 帳　簿　価　額 | 回収可能サービス価額 | 減損額の見込額 |
|---|---|---|---|
| 建物等 | 75,682,216円 | 75,682,216円 | 無し |

廃棄処分の時期が決定しておりませんので、帳簿価額及び回収可能サービス価額については、当事業年度の期末帳簿価額を計上しております。

【九州センター建材実験棟】

①使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

用途：九州センター建材実験棟

種類：建物

場所：佐賀県鳥栖市宿町807―１

②使用しなくなる日

平成23年度以降に廃棄処分を予定しておりますが、廃棄処分日については未定です。

③使用しないという決定を行った経緯及び理由

九州センター建物（建材実験棟）は、建材等の研究でアスベストを使用していたため、アスベストが建物内全体に堆積していることから、アスベストの除去を含めて建物全体を取り壊すことといたしました。